

いけんひろば

**あなたにとって化学物質はどんなもの？
～環境問題と化学物質について考える～**

報告資料

2024年11月18日（月）～12月11日（水）アンケート開催

2024年12月14日（土）対面開催

2024年度「こども若者★いけんぷらす」事業



- 開催概要

- 参加者の意見

1. 化学物質そのもの、化学物質を使用した製品が環境に与える影響に対するイメージ
2. 現在環境省が行っている取組について
3. 普段取り組んでいること、今後必要な取組について

- 対面回参加者アンケート



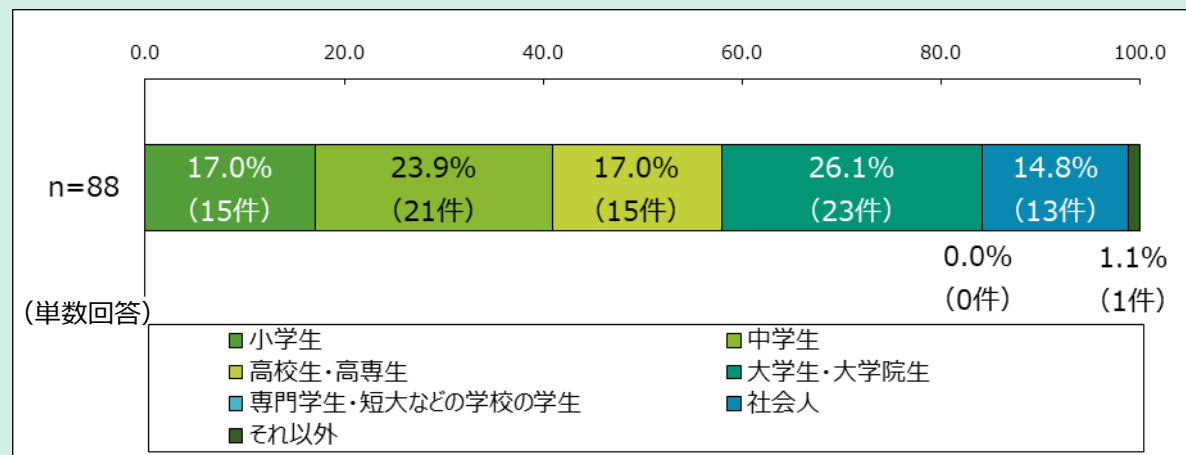
開催概要

テーマ	あなたにとって化学物質はどんなもの？ ～環境問題と化学物質について考える～
担当省庁	環境省
テーマ説明	化学物質やそれを使った製品は、わたしたちの日常生活にとっても身近で便利な存在です。しかし、使い方次第ではわたしたちの健康や生活環境・自然環境に悪い影響を与えてしまうおそれのあるものもあります。そのため、つくる人、つかう人といった立場の異なる人どうしが化学物質に関する正確な情報を共有しながら、お互いにコミュニケーションを取ることが、安全で安心な社会をつくるために重要です。 化学物質に関する情報発信や化学物質そのものについて、みなさんの考えていることや感じていることをお聞きすることで、よりよい情報発信の方法やよりよい化学物質に関する政策につなげていきたいと考えています。
参加対象者	【アンケート】「こども若者★いけんぷらす」の「ぷらすメンバー」に登録している方のうち、小学４年生以上の方 【対面】「こども若者★いけんぷらす」の「ぷらすメンバー」に登録している方のうち、高校生年代以上の方
開催日時 ・ 参加者数	【アンケート】 - 開催日時：令和６年11月18日（月）～12月11日（水） - 回答件数：88件 【対面】 - 開催日時：令和６年12月14日（土）14:00～16:00 - 参加者数：18人（１班…高校生年代５名、２班…高校生年代４名、３班…大学・大学院生年代５名、４班…社会人年代４名）

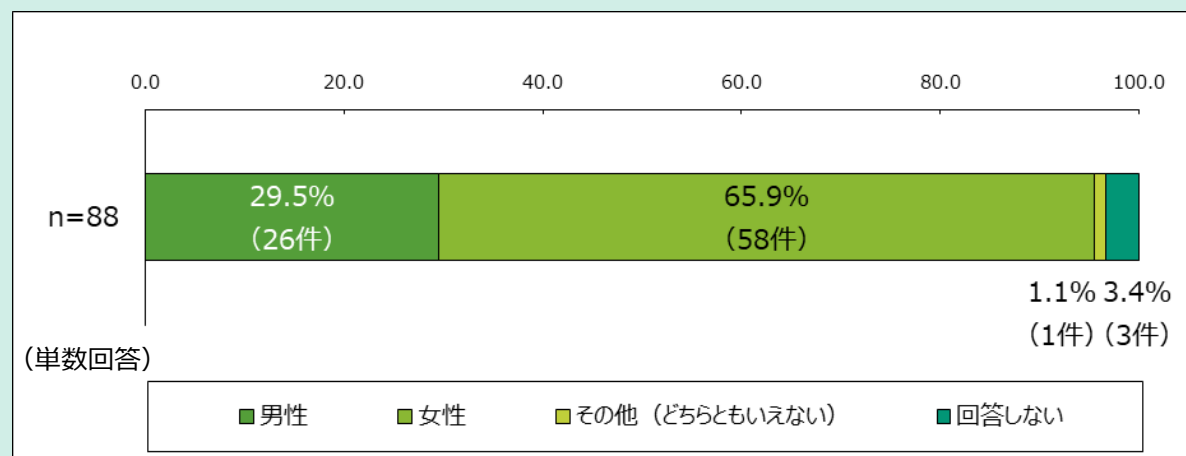
アンケート回答者の属性

基本属性

- 「大学生・大学院生」(26.1%) が最も多い回答者でした。
- 各年代からバランスよく回答いただきました。

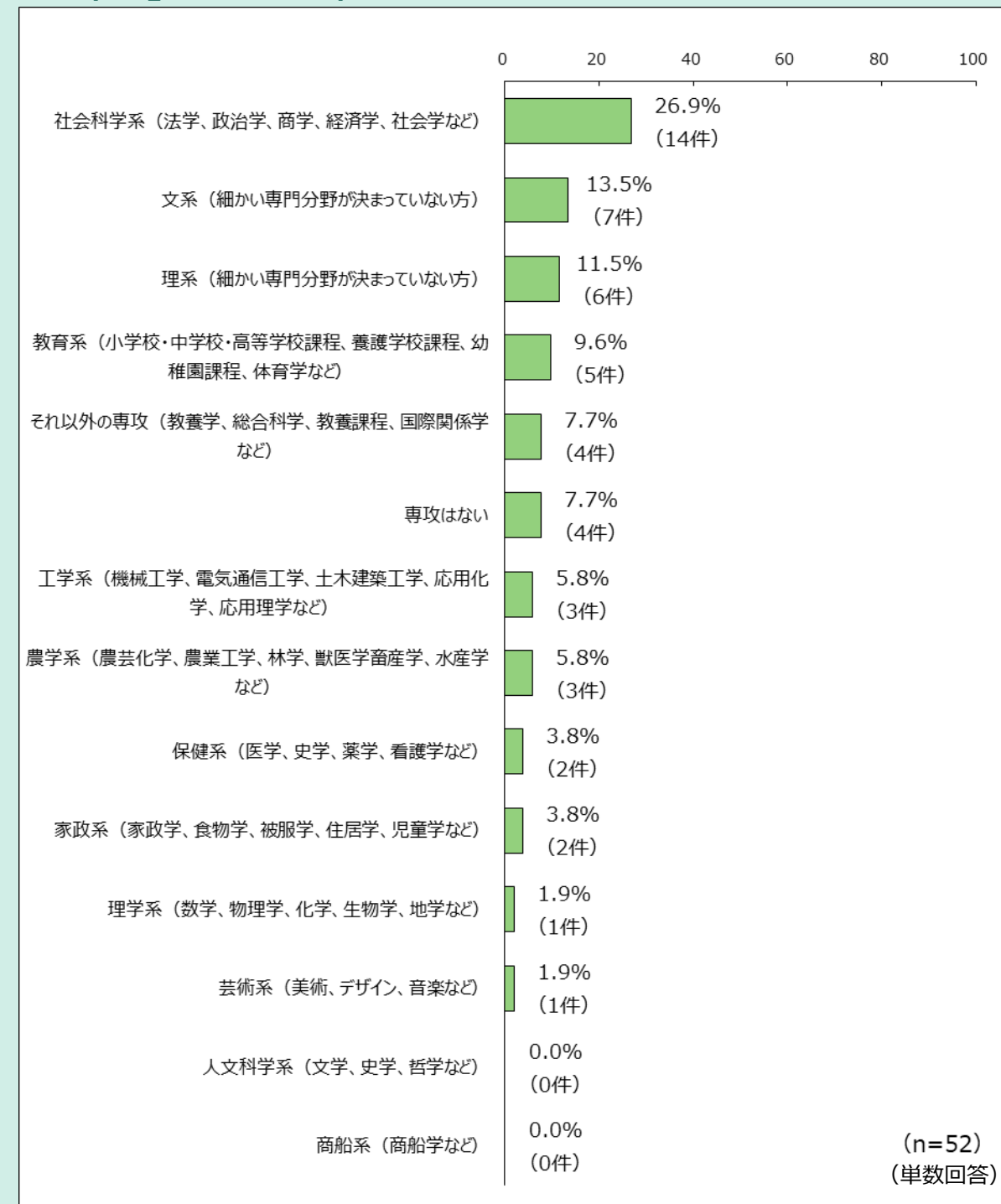


- 「女性」(65.9%) が最も多い回答者でした。



専門分野 (理系・文系・〇〇学専攻など)

- 「社会科学系」(26.9%) が最も多く、次に「文系 (細かい専門分野が決まっていない方)」(13.5%)、「理系 (同上)」(11.5%) が続きました。



1. 化学物質そのもの、化学物質を使用した製品が 環境に与える影響に関するイメージ

あなたの身の回りで化学物質が使われているものには何があると思いますか。

アンケート・対面共通

すべて

- あらゆるもの
- 身の回りにあるほぼ全てのもの



洗剤など

- 洗剤
- 柔軟剤
- 掃除用の漂白剤

プラスチック製品

- プラスチック
- ビニール袋
- ペットボトル
- プラスチック製品などの人工物

食品

- 食品添加物
- うまみ調味料
- 食品の保存料
- コンビニの弁当
- 見た目がきれいなお菓子



その他

- 衣料品
- 家具・家電
- 化粧品、医薬品
- 化学肥料・農薬

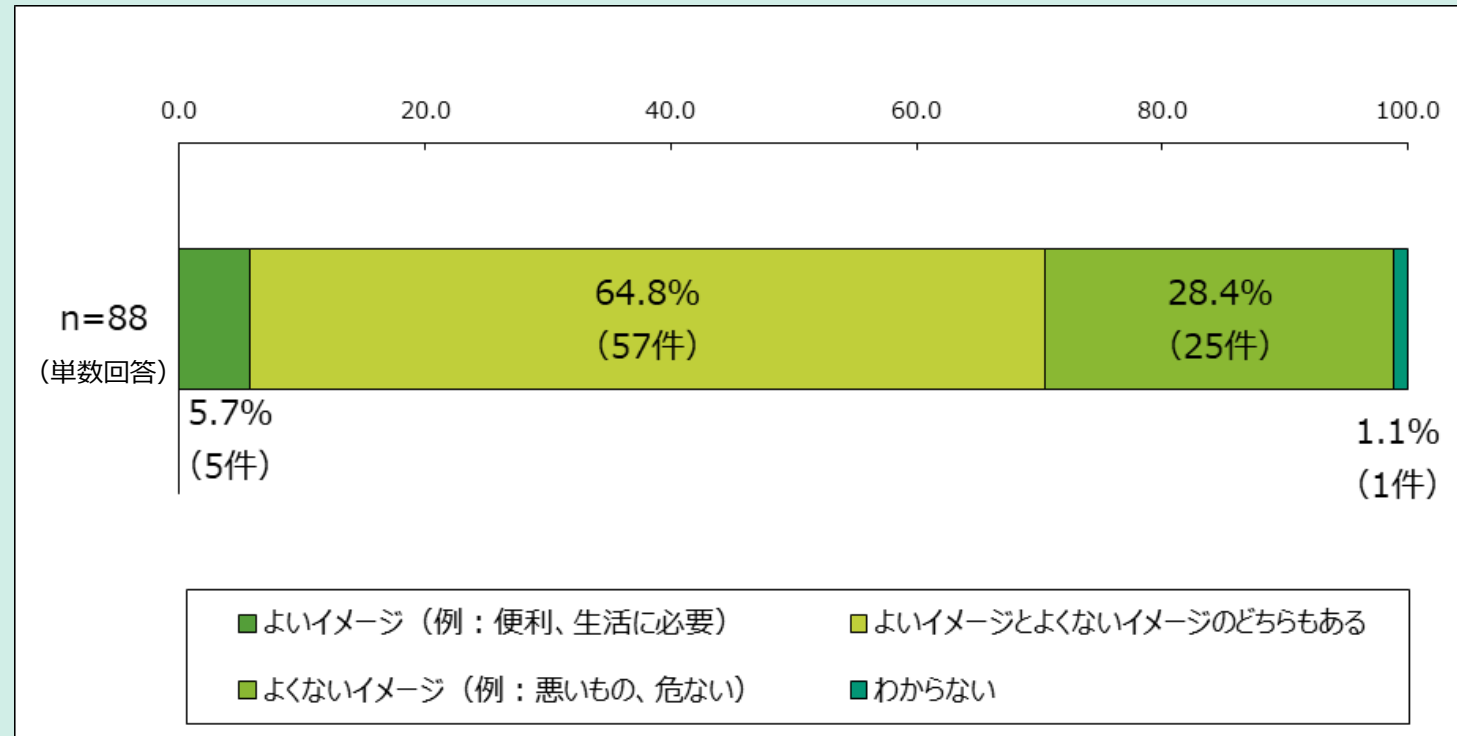


1. 化学物質そのもの、化学物質を使用した製品が環境に与える影響に関するイメージ

あなたは「化学物質」と聞いてどんなイメージを持ちますか。

アンケート

- 「よいイメージとよくないイメージのどちらもある」（64.8%）が最も多く、次に「よくないイメージ」（28.4%）が続きました。



1. 化学物質そのもの、化学物質を使用した製品が環境に与える影響に関するイメージ

化学物質に対してよいイメージ・よくないイメージを持った理由を教えてください。

アンケート・対面共通

「よいイメージ」と回答した方

- 便利で生活が豊かになるから。
- 化学物質がなければ生活できないから。
- 台所洗剤なども化学物質なので、色々な種類があると思う。洗剤であれば「きれいになる」というメリットを感じている。



「よいイメージとよくないイメージのどちらもある」と回答した方

【化学物質の利用にはメリットとデメリットの両方があるから】

- 食料の保存とかの長期化ができたりして生活を楽しみしてくれるが、**発がん性のリスクがあるものもあるから。**
- 化学物質のメリットは**検査や治療に使えること**。一方、ぜんそくなど**人体への有害な影響も指摘されているので使い方のバランスが大事**だと思う。
- いわゆる**環境被害が取りざたされているイメージ**がついており、化学物質と聞いたらそんなに良いイメージはない。けれど、**自分の生活で絶対に使っている**ので、冷静に考えると絶対悪ではない。
- 加工過程や燃焼処理に伴って生じる有害物質による**大気・土壌・水の汚染が過去に発生**していたり、**人体への影響も懸念**される。その一方で、**身の回りで便利に使用されている**。自分もその1人であり、化学物質を完全に世の中から無くすことは不可能だと思うから。
- 海洋プラスチックとマイクロプラスチックの学習の中で、**プラスチックは分解されにくいところが便利でもあり汚染の原因にもなっている**と知ったから。

【使い方次第だから】

- 使い方や使った後の処理が適切であれば危険性は薄くなるだろうから。
- 正しい使用方法、量などを守れば生活面でとても役に立つが、**過剰使用や有害性を無視しての利用などをすれば生物や環境に害を及ぼす**ため。
- 化学物質にマイナスなイメージがない。**製造元は国が定めた基準値に則って製造管理をしているはずなので信頼**している。ただ、PFASは調査中で、値がかなり高い地域がでてきたと聞いて不安。

「よくないイメージ」と回答した方

- 添加物は**発がん性があるもの**があると聞いたことがあるから。
- 学校で**公害の勉強をしたときに、化学物質が原因だと聞いた**から。
- **化学物質過敏症など体調に悪影響が出ている事例を聞いた**から。
- 化学物質に対しては悪いイメージがある。公害だけでなく、**最近ではサプリメントのニュースもあ**った。
- 化学製品が含まれている服を着ると**肌が荒れてしまったり、食品添加物を食べると気持ちが悪くなる**ことがあったりするから。
- 原爆なども爆薬も化学物質であることから、**原子力や原子力発電所の事故も悪いイメージをもつ要因**になっている。



1. 化学物質そのもの、化学物質を使用した製品が環境に与える影響に関するイメージ

化学物質がどのような影響をもたらすと思いますか。

対面

良い影響

- 化学物質があることで**食料品を作る工程が効率化**される。
- **化学物質を使えなくなると、手ごろな値段の服もなくなる**と思う。
- うまみ成分も化学物質。**ご飯をおいしく食べられる**のも化学物質のおかげ。
- 化学物質があった方が植物の育成が早くなるので、**食料の生産にもメリット**がある。
- 化学物質は**色々な形に変えられる**。ペットボトルを服にリサイクルできる。宇宙でエネルギーを補給する際にも使えると聞いた。
- 「化学」と「物質」という言葉は良いイメージがないので、**名前を変えて親しみやすいようにした方が**良いのではないかな。

悪い影響

- 化学物質は使いすぎると**自然に影響**がある。
- 化学物質は**量を誤るとデメリットを生む**こともある。公害がその例。また、濃度が高いものを自然環境に放出すると本来は問題ないものでも悪影響を及ぼすことがある。
- **プラスチック製品は便利だが、製造や処理の過程で二酸化炭素を排出**している。マイクロプラスチックも環境に悪い。



良い影響と悪い影響の両方

- 塩素も**悪い影響もあるが、使い方によっては清掃に役立つ**。
- 自分の中では化学物質は「包丁」のようなものだと思う。自分の手を切ったりすることもあるが、うまく使えれば役立つ。**使い方が大切**である。
- 化学物質が**地球温暖化に悪影響を与えている一方で、車の話でいうと、ガス排出を減らすために電気が役立っている**。自然を守るために化学物質を使っているという見方もできる。



2. 現在、環境省が行っている取組について

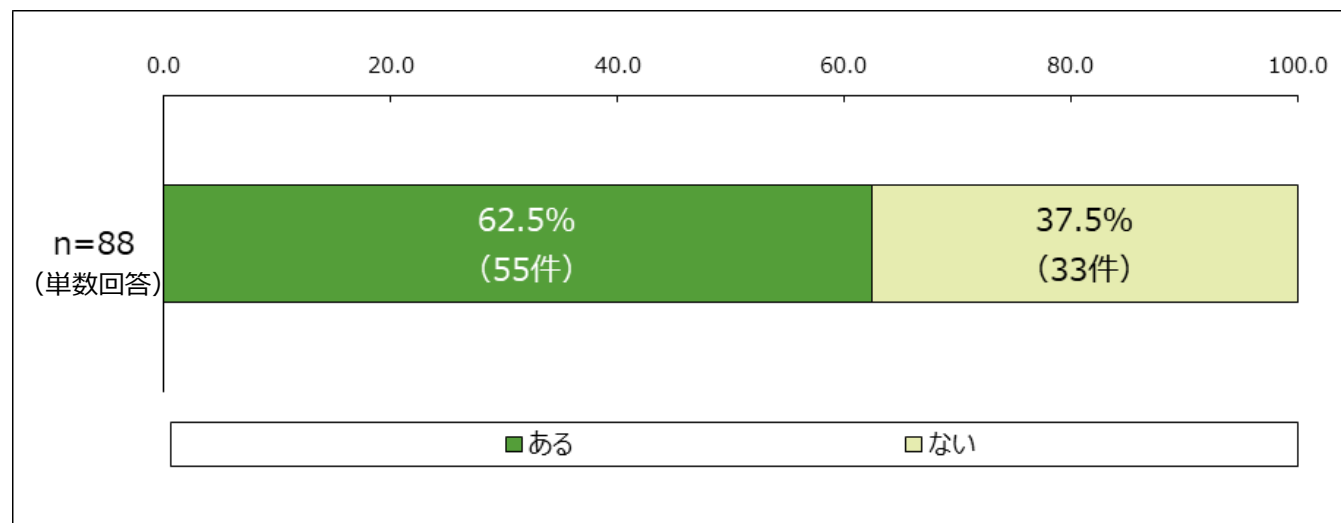
化学物質に関する国内外の環境問題について

アンケート

化学物質に関する国内外の環境問題を習ったり、聞いたりしたことはありますか。



- 「ある」と回答した方（62.5%）が多く、次に「ない」と回答した方（37.5%）が続きました。



【見聞きしたことのある化学物質による環境問題の例】

（国内の事例）

- 四大公害病
- 瀬戸内海の赤潮
- 福島原発の放射能汚染
- PFAS問題

（国外の事例）

- チェルノブイリでの原発事故
- ベトナム戦争における枯葉剤の使用
- 中国の光化学スモッグ
- インドの大気汚染物質PM2.5

（場所が広範囲にわたる事例）

- 石油の海洋流出
- マイクロプラスチック問題
- 酸性雨

ほかにも、大気汚染、水質汚染などについてたくさんの意見をいただきました。



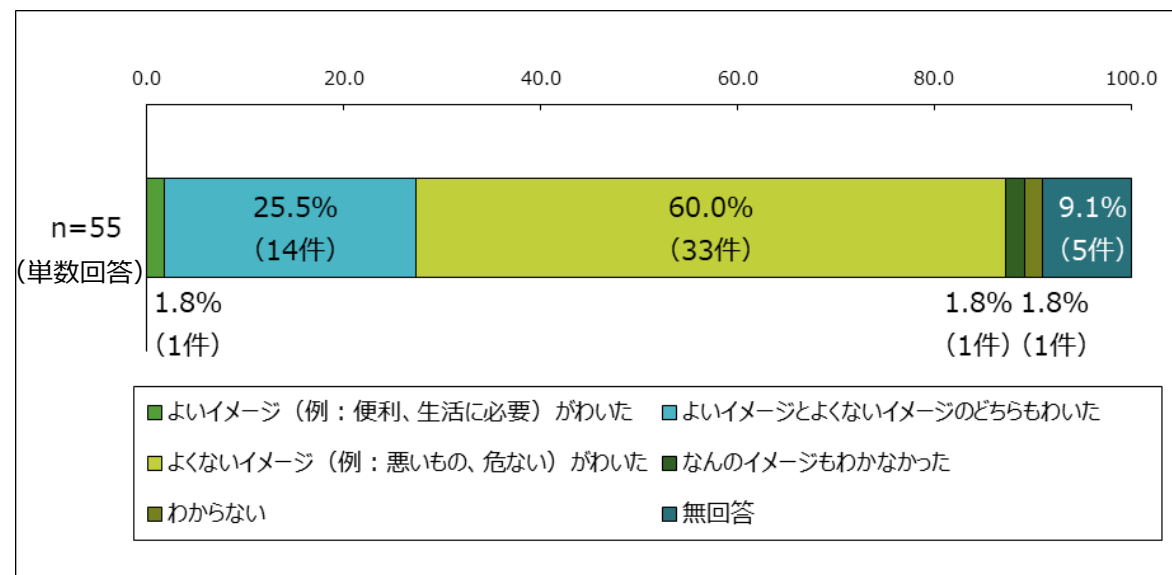
2. 現在、環境省が行っている取組について

化学物質に関する国内外の環境問題について

アンケート

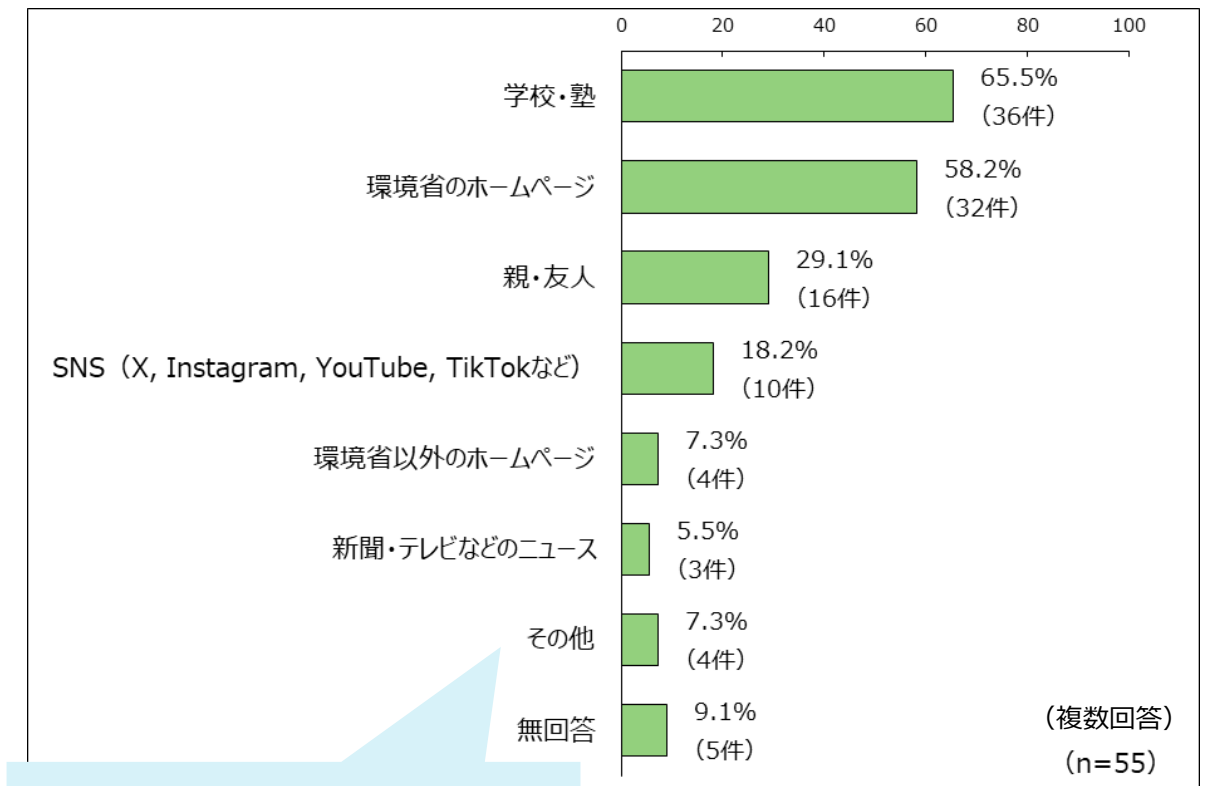
化学物質に関する国内外の環境問題を知ったときに、化学物質に関する環境問題の具体的なイメージがわきましたか。

- 「よくないイメージがわいた」(60.0%) が最も多く、次に「よいイメージとよくないイメージのどちらもわいた」(25.5%) が続きました。



化学物質に関する国内外の環境問題について、具体的にどこで知りましたか。

- 「学校・塾」(65.5%) が最も多く、次に「環境省のホームページ」(58.2%) が続きました。



「その他」の回答 (一部抜粋)

- きょうだい
- 課外活動



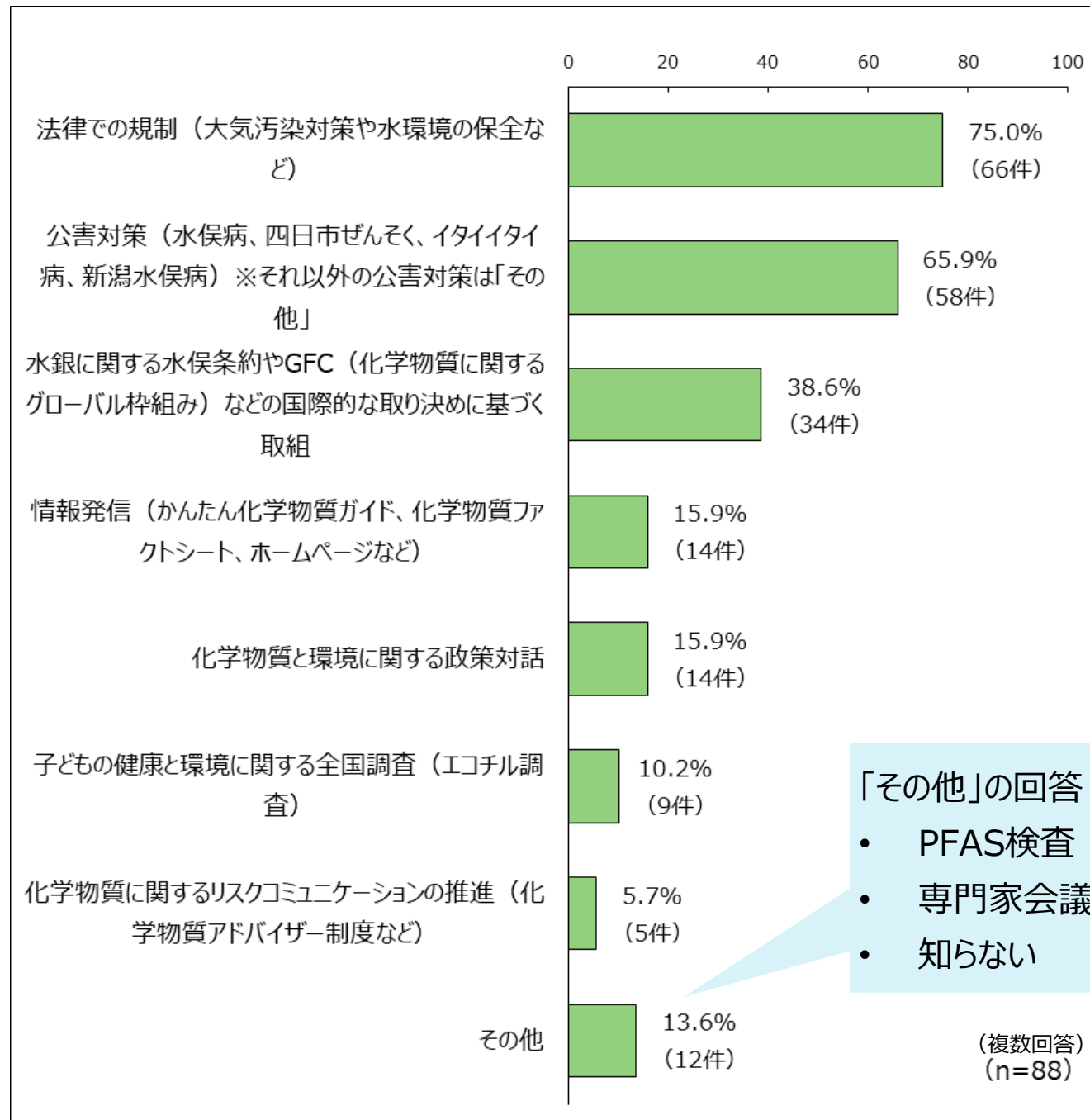
2. 現在、環境省が行っている取組について

化学物質に関する環境省の取組みについて

アンケート

化学物質に関する環境省の取組みについてどのようなことを知っていますか。

- 「法律での規制」(75.0%) が最も多く、次に「公害対策」(65.9%) が続きました。



「その他」の回答（一部抜粋）

- PFAS検査
- 専門家会議
- 知らない

(複数回答)
(n=88)



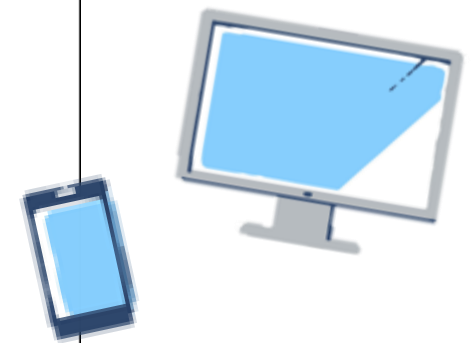
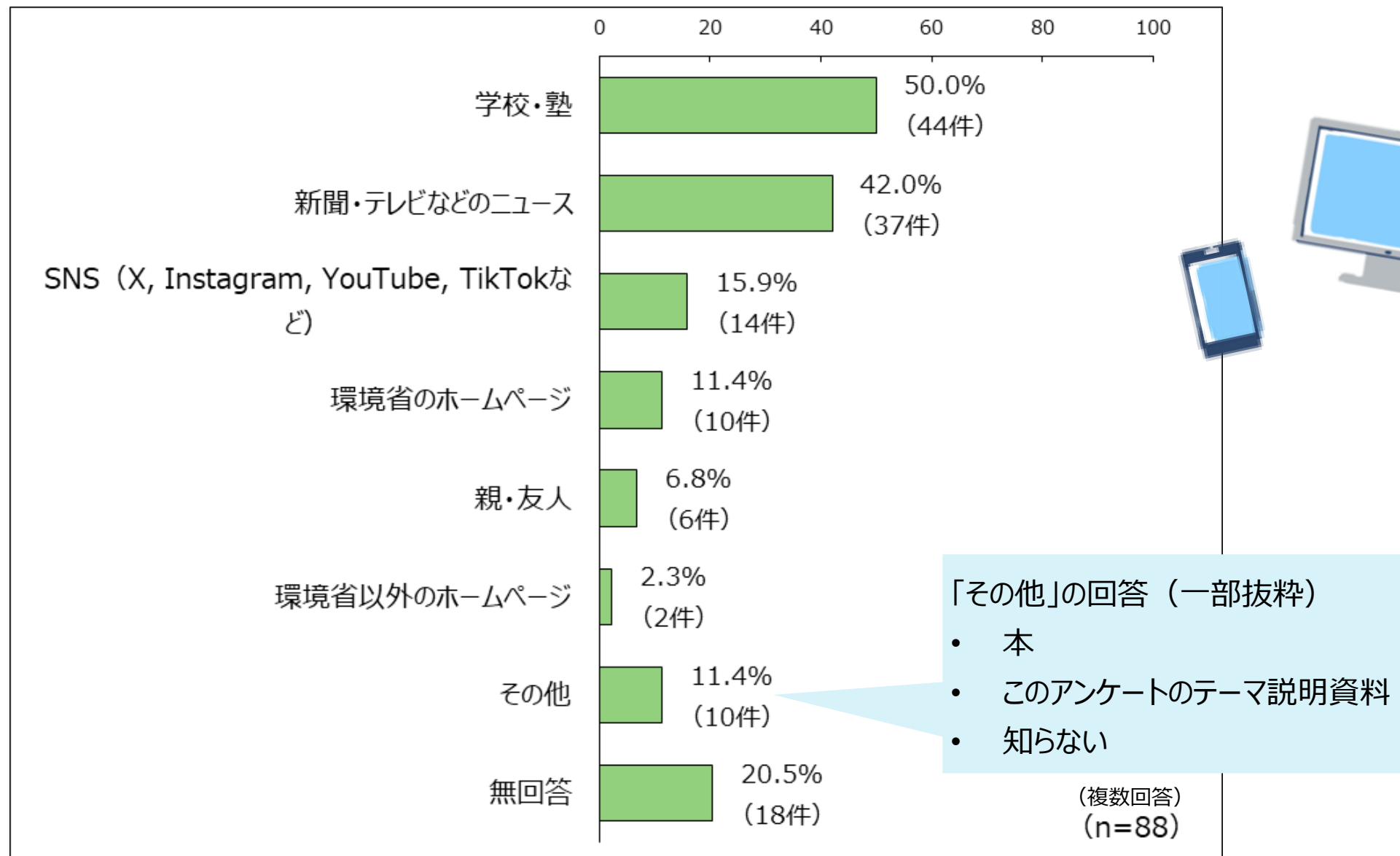
2. 現在、環境省が行っている取組について

化学物質に関する環境省の取組みについて

アンケート

環境省の取組みについてどこで知りましたか。

- 「学校・塾」(50.0%) が最も多く、次に「新聞・テレビなどのニュース」(42.0%) が続きました。



2. 現在、環境省が行っている取組について

「かんたん化学物質ガイド」について

※かんたん化学物質ガイド

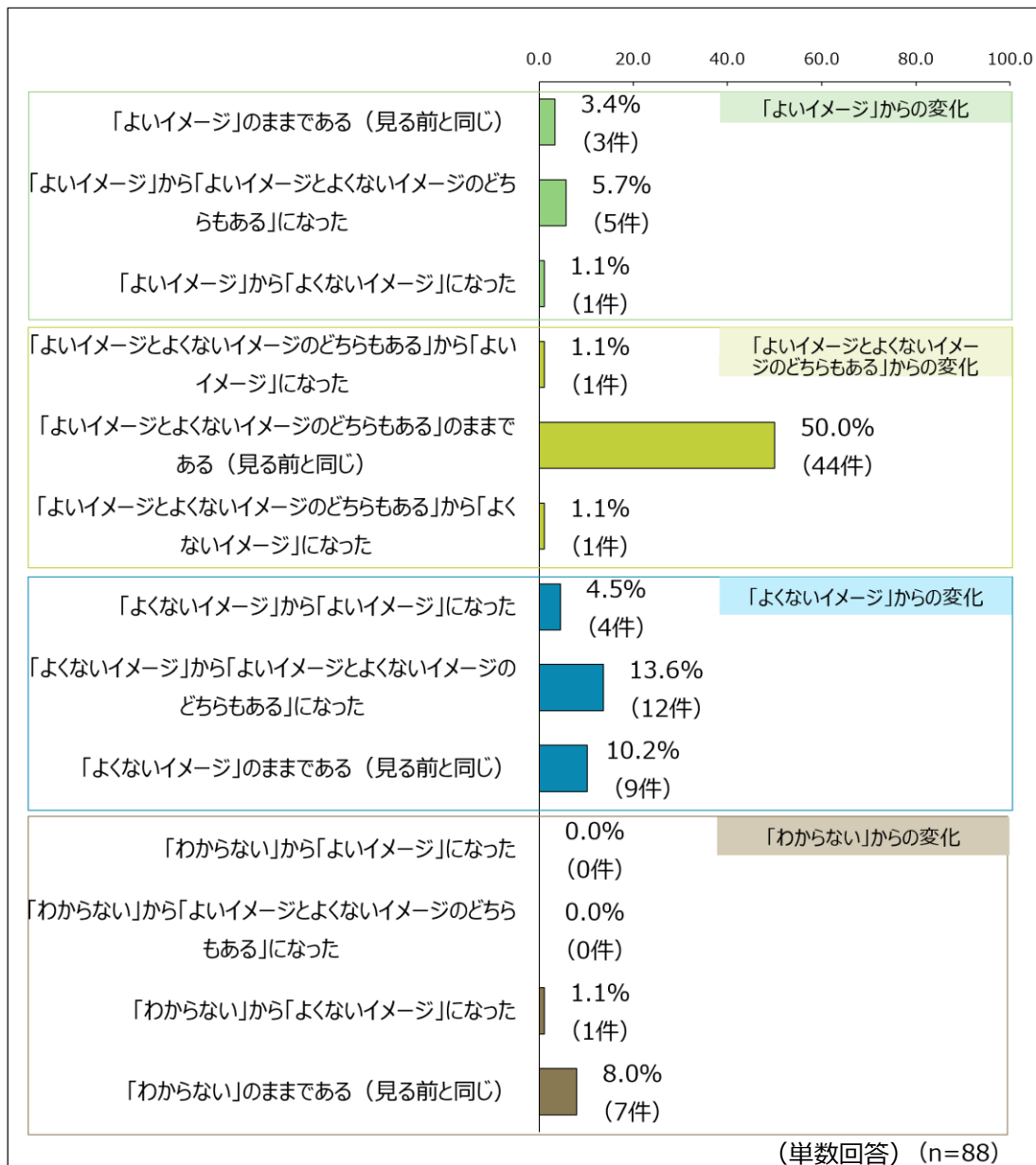
化学物質について小学校高学年以上向けに解説したパンフレット

<https://www.env.go.jp/chemi/communication/guide/index.html>

アンケート

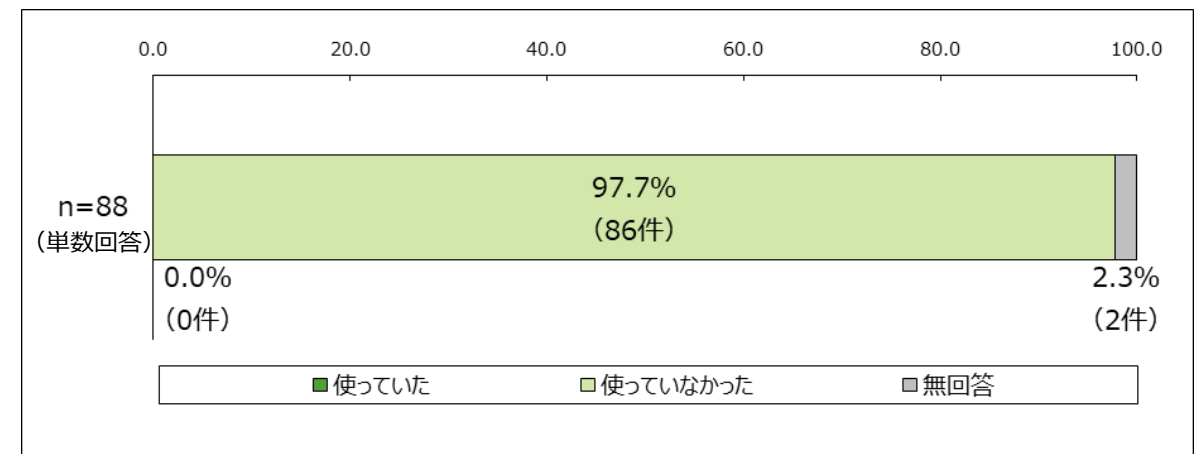
「かんたん化学物質ガイド」を見て、化学物質や、化学物質に関する環境問題のイメージはどのように変わりましたか。

- 「よいイメージとよくないイメージのどちらもある（見る前と同じ）」（50.0%）が最も多く、次に「「よくないイメージ」から「よいイメージとよくないイメージのどちらもある」になった」（13.6%）が続きました。



「かんたん化学物質ガイド」を学校の授業で使っていましたか。

- 「使っていなかった」（97.7%）が最も多く、次に「無回答」（2.3%）が続きました。



2. 現在、環境省が行っている取組について

「かんたん化学物質ガイド」について

アンケート・対面共通

「かんたん化学物質ガイド」のホームページはどうしたらもっとわかりやすくなったり、みんなが見たりするようになると思いますか。

【仕様・レイアウトについて】

（ホームページについて）

- 文字が多くインパクトがないので、色を変え文字を少なくするといい。
- PDFをダウンロードしなければ見られない仕様は確認しにくい。PDFは必要だとは思いますが画面だけで内容が確認できるようにしてほしい。
- 「ダウンロードページへ」とあるが、アクセスする人は内容の確認がしたいので「詳細」か資料タイトルをボタンにしてクリックの方が分かりやすい。

（パンフレットについて）

- 挿絵が分散している。どの絵がどの文章を指しているかわかりにくい。文字のところに絵を入れず、視線がまっすぐ移動できるようにしてほしい。
- 小学生向けにはなるべくイラストで図示し、文字を減らした方が良い。
- 小学校低学年はポスター、小学校高学年は敬語で冊子にするなど、色々な方向を考えてもいい。
- スマートフォンで縦にスクロールできる形式の方が見やすい。

【形式について】

- 「酸素ちゃん」といったキャラクターを作るのはどうか。
- アプリケーションにして、クイズ形式にしたら良いと思う。
- 動画を使った学習の方が子どもたちはより集中し理解も深まると思う。そのため、ガイドブックに沿ったアニメなどの動画教材があると良い。
- 多くの人に興味を持ってもらうなら、アニメのキャラクターなどとコラボしたものなどが作れると小学生も興味を持って読むのでは。



【掲載内容について】

- このガイドを教員がどう使用するかで捉え方が変わってくる。授業で使用する場合、モデルとなる授業構成をしっかりと作った方が良い。
- 環境への影響についての説明が不十分であると思う。「環境にでてしまう」「環境リスク」などの文言が散見されるが、その具体的な意味が曖昧に思われる。
- 化学物質についてしっかり知ってほしいのであればこれくらいの情報量で良いが、「化学物質ってなに？」というところから知ってほしいのであれば情報量は減らし、自分で調べるように促すのが良いと思う。

【広報について】

（学校を通じた広報）

- 教育機関と連携して学校に直接提示した方が良いと思う。
- 中学校には朝読書の時間があるので、読むものがないときに学校に置いてあったら読むと思う。
- 理科の教科書に二次元コードを載せて読み込んでもらったら良い。
- 先生が知らないと子どもにも届かない。先生もかんたん化学物質ガイドがあることを知るようにできると良い。

（その他）

- 小中高生は親から情報を得ることが多いので、親世代に訴えかけると良い。
- サイトだけでなくSNSでもっと興味を持ってもらうようにしたり、イベントを開催したりして、広げていくことが大事だと思います。



2. 現在、環境省が行っている取組について

「かんたん化学物質ガイド」について

アンケート

環境省の環境リスクコミュニケーションのホームページは、どうしたらもっとわかりやすくなったり、みんなが見たりするようになると思いますか。

【レイアウトについて】

- ・ パソコンで見ると画面が小さくなってしまい、見にくかったです。
- ・ サイトの作りが古く今のモニターサイズにあっていないうえ、**スマートフォン(モバイル画面)への最適化がされておらず**見づらい。
- ・ 環境省のホームページはすごく見やすいのに、このページはパソコン向けなのか、スマホだと文字のサイズや配置がおかしくなるし、**配色も色が多すぎ**て逆に見にくい。
- ・ サイトの見た目が**古めかしく親しみがないデザイン**に思える。
- ・ 画面遷移後、**元のメニューへ戻るボタンが無い**(スマホから見ている)。

【その他】

- ・ 環境省のHPからアクセスしづらい。
- ・ こども用メニューがこどもというより**指導者用に見える**。エコプラントとすごろくは**指導者用の枠で示した方がいい**のではないかな。
- ・ **どのような人が自発的に見る機会が生まれるのかあまり想像がつかない**(教育現場などで使用されるのでしょうか?)



2. 現在、環境省が行っている取組について

化学物質アドバイザー制度について

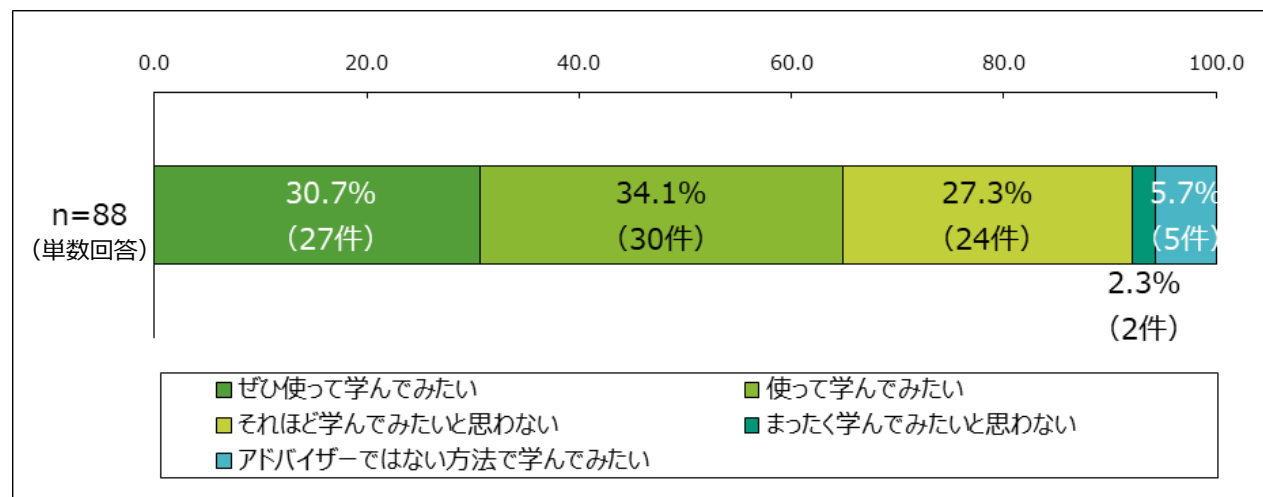
※化学物質アドバイザー制度：

化学物質についてみなさんの「知りたい」「学びたい」を助ける人材を派遣する制度

アンケート

環境省の化学物質アドバイザー制度をつかって化学物質と環境のことを学んでみたいと思いますか。

- 「使って学んでみたい」（34.1%）が最も多く、次に「ぜひ使って学んでみたい」（30.7%）が続きました。



【学んでみたい内容】

- 化学物質について正しい知識を身に付けたい。
- 日本と海外の化学物質を使っている国では、環境へどんな影響があるのか、またその現状を知りたい。

【「ぜひ使って学んでみたい」と回答した理由】

- 学校の先生が知らないような、マニアックなことも教えてもらえそう。
- プラスチック問題を含む環境問題を良くしたいし、体を守りたいから。
- 学校の先生より、専門の先生の方が分かりやすく教えてもらえそう。

前問の理由や学んでみたい内容を教えてください。

【「使って学んでみたい」と回答した理由】

- 教える人にはある程度の専門性が求められるため、アドバイザー制度を利用した方が良い。
- 高校、大学で文系に進むと化学物質についてあいまいな知識を持ったまま、または誤った偏見を持ったままになってしまうから。
- 学校の化学の勉強だと、化学式と向き合っているだけで化学を勉強する意義があまり見いだせていないので、アドバイザーの方から化学について興味を持てるような講演をしていただきたい。

【「それほど学んでみたいと思わない」と回答した理由】

- 化学物質アドバイザー制度を見るだけでは効果的な気がしない。
- 環境問題に正直そこまでの興味を持っていないから。
- ニュースやSNSの情報の方が目につくため、アドバイザーが派遣されても自分自身の考えはあまり変わらないと思うから。

【「アドバイザーではない方法で学んでみたい」と回答した方】

- 自ら調べ、訪れ、観て学ぶ方が積極的な学習につながると思う。
- アドバイザーと聞くと、話しが長いや専門的などのイメージがある。ファシリテーターと一緒に取り組む講話をしたい。



2. 現在、環境省が行っている取組について

化学物質アドバイザー制度について

対面

化学物質アドバイザー制度について、
良い点、こうした方がよいと思う点などを教えてください。

【良い点】

- 予想していたより**利用料金が安かった**。
- 個人が活用するのは難しそうだが、**企業による環境対策を示す際に役立ちそう**である。
- 下水の処理に関するニュースなどは直接説明があった方が良いので、**変なニュースに流されないためには化学物質アドバイザーがいて説明してもらえるのは良さそう**である。
- 学校現場ではコミュニティスクールにしていこうということが言われているので、**地域に化学物質アドバイザーを招いて、小学校5～6年生と実験をしているときにかみ砕いた説明をしてもらい学べるのは良さそう**。



【こうした方がよいと思う点】

(制度の知名度向上)



- まず知ってもらうための**周知が必要**だと思う。
- 化学物質アドバイザーが来てくれて「大丈夫」と言われたとしても、**化学物質アドバイザー制度自体を知らない**ので、説明されても信用にもつながらないかもしれない。

(アドバイザーの人員拡充)

- 化学物質アドバイザーがいるかは地域によって違う。**自分が住んでいる地域にはいないので、ばらつきがありそう**。
- アドバイザーの人数が**思ったよりも少なかった**。各都道府県に1人は配置するなど、**もう少し増やしても良いのかな**と思う。
- 化学物質アドバイザーになりたい人に向けて、**どのような手続きを踏むのか、アドバイザーになるとどんなメリットがあるのかも伝えることで、人数を増やせるのではないか**。

(その他)

- 研修会は硬い感じがする。**芸能人とアドバイザーが一緒に来て、会場を盛り上げながら進行してくれたら良い**。

2. 現在、環境省が行っている取組について

「化学物質と環境に関する政策対話」について

※化学物質と環境に関する政策対話：
市民、事業者の代表などのみなさんと、化学物質に関する意見交換などをする場

対面

「化学物質と環境に関する政策対話」について、
良い点、こうした方がよいと思う点などを教えてください。

【こうした方がよいと思う点】

（議事録について）

- ・ 議事録は長いと読まれないので、**簡潔にしてくれた方がよい**。
- ・ 今は開催日時がタイトルとなって公開されているが、開催日程だけでなく**話されたテーマもホームページに掲載してもらえれば見ようと思える**。
- ・ **とても難しく**今何が議論されているかが分からなかった。議事録をさかのぼると分かるのかもしれないが、**直近の議事録だけでは理解できなかった**。



（こども・若者の参画について）

- ・ 委員の中に**若者を入れるのは難しいか。入れてもらえるといい**。
- ・ 政策対話に参加する人にも利害関係があるので、話す人の希望や意向が強く表明されると思う。こども・若者には「何も知らないからこそ出る発想」があるので、**自由な議論のためにこども・若者をうまく使ってほしい**と思う。

（その他）

- ・ 政策対話のテーマ設定は国民から募集することはできるのか。**有識者でない方からの疑問も交えて政策対話を行うこともできるのか**。
- ・ **議論の結果を国民に周知できる場があれば良い**と思う。今回のいけんひろばで、化学物質アドバイザー制度や政策対話制度などを初めて知ったので、もっと周知していくべきだと思う。

【関心を持った】

- ・ 議事次第を見て、**調べてみたいと思った**。
- ・ **参加してみたい**。政策決定に関与することはないと思っていたけれど、意外と自分たち民間人の意見を吸い上げる場があるのだと知った。



2. 現在、環境省が行っている取組について

「化学物質と環境に関する政策対話」について

アンケート

みなさんから、化学物質や環境問題について、ほかの大人や事業者のみなさんに伝えたい意見はありますか。

【環境問題について】

(情報発信について)

- 環境に配慮した取り組みを行っている事業や人々に向けて、**どのくらい成果が出ているのか公表してほしい**です。
- **どのような予防策を講じているのか、わかりやすく提示してほしい**。また、**流出してしまった物質に対しては、どのように解決されていくのか、あまり耳にする機会がないので、対応法についても聞きたい**と思った。
- 環境問題は一部の人が努力したところで大きく変わるわけではないと思う。多くの国民に**環境問題の存在や、私たちができる身近な取り組みを知ってもらい、社会全体で環境問題に取り組む意識が重要**。

(環境保護規制について)

- 国だけでは限界があるので、**企業にも参加義務がある**といいと思う。
- 事業所からの排出に関して、**大気・水・土壌・廃棄物の全てのカテゴリーを網羅する規制が必要**だと思う。
- **環境問題に対する政策を考える時に、海外の政策と比較する**と思いますが、**日本との自然環境の違いや企業努力も考慮に入れてほしい**。
- ヨーロッパのように人の健康を守るという観点からできるだけ**「予防的」な観点を大事にしてほしい**。欧州の規制が強まればサプライチェーンの影響で日本の規制が弱いことがあとなり事業者が悪い影響を与える。

(その他)

- **数十年先の将来のことを具体的に考えて予防策を検討してほしい**。
- 政府は**使い捨てを減らすキャンペーンや、地球にやさしいプラスチック代替素材を普及させる補助**をしてください。

【化学物質について】

- 化学物質について正しい知識をちゃんと大人から教わる機会は少ない。**こども・若者世代に正しい知識をぜひ授業やセミナーなどで教えてほしい**。
- **大人で話し合ったことをこどもへ伝えることをしっかりすること**。自分たちが将来をつくりあげて行く存在だからこそ、知るべきこともある。
- 化学物質について、**根拠のないデマや憶測に正しく対応したり、自分が根拠を持って判断したりするにはどのようなことに目をつけて調べたりすべきか、学校教育の内容と実生活のつながりなさを解消する考え方を**知りたい。
- **化学物質のからだへの影響を正しく明らかに示してほしい**。
- 化学物質を使うこと自体が悪いわけではないため、**適切な使い方をできるように監視の目を働かせてほしい**。



3. 普段取り組んでいること、今後必要な取組について

化学物質の環境問題を解決したり問題が起こらないようにするために、どのような取り組みが必要になると思いますか。
また、ふだんから化学物質の環境問題に関する取り組みをしていたら、ぜひ教えてください。

アンケート

化学物質に関する知識の発信・習得

- 知識の普及、講演会など。
- 情報を全部出すことが大事だし、理解できるように整理してこどもにも伝えてほしい。まずは理解することだと思う。
- 化学物質がどのような目的で使われるようになったものであり、どのように使えば安全なのかについて考えていくこと。
- 私はどのようなことをしているか、無知、無関心でいたのでこれからこのことを知ること、関心を持って意識することを心がけたいです。
- 正しく学ぶことが必要だと思うが、私含め、一般の人は正しく学ぼうとしていないのが正直なところだと思う。環境問題の前に、まずは化学物質、科学技術について正しく学ぶほうが先だと思う。

環境負荷を考えた製品の利用・開発

- 化学物質が使われている製品の使い方に気をつける。
- 有害な化学物質を使わないようにし、排気ガスを出さず水素を燃料にして走行する燃料電池自動車などを推進していくべきだと思います。
- 関心のない人の意識は簡単には変わらないものなので、商品が変わったり、制度が変わったりしていかなければならないのかなと思います。



規制、投資など政府による取り組み

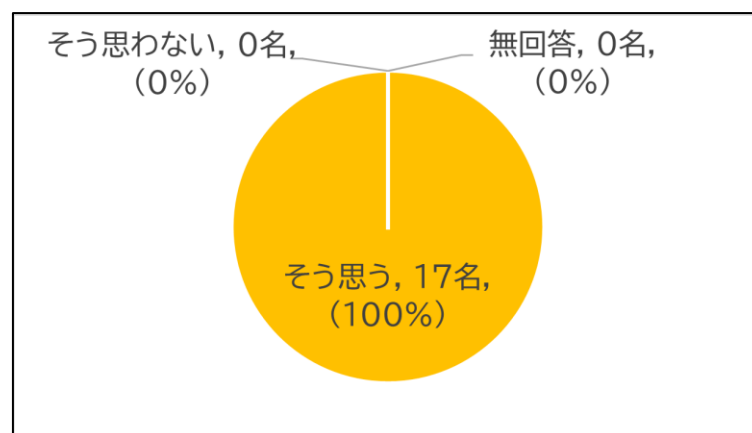
- 今より厳重な法律。
- 化学物質の環境・人への影響の問題に関する研究に対する投資を増やす。
- ほとんどの事業者の方はきちんと対策・処理されていると思うが、一部の不法投棄などを違法行為を行っている事業者は、しっかりと処罰をして社会的に不法投棄はNOという意識づけをすることが必要だと思う。

参加者アンケート（一部を抜粋して掲載）

対面

こどもまんなか
こども家庭庁

今日の「いけんひろば」に参加してよかったと思いますか？



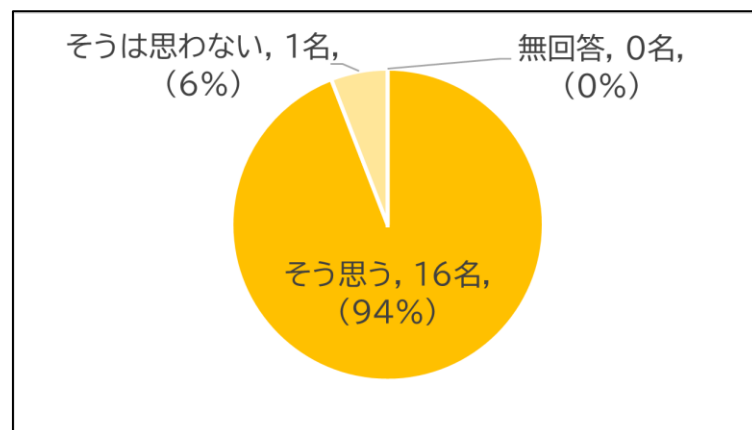
「そう思う」の理由（自由回答）

自分の意見を言葉にすることによって、自分の考えがまとまったし、ナイロンだったら、合成する薬品を工夫すれば環境にやさしいものをつくれるなど、科学的に新しい気づきがあった。

自分と考えの違う人とたくさん話せたから。

あまり詳しくないテーマだったけれど、話し合いを通して自分の知識も深めることが出来たし、実際に環境省の方の話も聞くことが出来たから。

今日の「いけんひろば」では、自分が話したいと思ったことを言えましたか？



話したいと思ったことを言うのがむずかしかった理由や、言い足りなかったこと（自由回答）

たくさん話す人に少しあっとうされた

話すタイミングを逃してしまった。化学物質は管理する者や不適切な扱いによって有害な影響が出ていると思っている。

そのほか、今日の「いけんひろば」についての感想を教えてください。

今回のいけんひろばで化学物質アドバイザーの方の講演(もしくは実際の様子の動画)も聞いてみたかった。

化学物質が思ったより身の回りに溢れていること、私が抱いていたマイナスのイメージの他に化学物質が良い影響をも与えていることにも気づくことが出来た。